

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公表番号】特表2008-515623(P2008-515623A)

【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2007-535682(P2007-535682)

【国際特許分類】

B 08 B 15/00 (2006.01)

【F I】

B 08 B 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月26日(2008.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ダスチング物質のダスト化を抑制する方法であって、

ポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンの水性分散液を前記ダスチング物質の露出外面に吹き付けて、前記分散液の少なくとも一部をフィブリル化しつつ前記ダスチング物質の露出外面をポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンのフィブリルのウェブで被覆することを特徴とする、ダスト化を抑制する方法。

【請求項2】

高度に霧状にされたポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンの水性分散液の霧を雲状のダストに吹き付け、それによって雲状のダストを少なくとも部分的に降下させることを特徴とする、ダスチング物質上に存在する雲状のダストを抑制する方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

本発明の精神および範囲に含まれる変更は当業者が容易に成し遂げることができるので、本発明は、上に例として説明した具体的な実施形態に限定されないことを理解すべきである。

本発明は、以下の態様を包含する。

[1]ダスチング物質のダスト化を抑制する方法であって、ポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンの水性分散液を前記ダスチング物質の露出外面に吹き付けて、前記分散液の少なくとも一部をフィブリル化しつつ前記ダスチング物質の露出外面をポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンのフィブリルのウェブで被覆することを特徴とする、ダスト化を抑制する方法。

[2]ポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンの前記水性分散液が、約0.15重量%～約15重量%のポリマー固形分を有することを特徴とする、[1]

]に記載の方法。

[3]ポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンの前記水性分散液が、ポリマー固形分の重量を基準として約 2 重量 % ~ 約 1 1 重量 % の非イオン界面活性剤を含有することを特徴とする、[1]に記載の方法。

[4]前記分散液が脂肪族アルコールエトキシレート非イオン界面活性剤を含むが、芳香族基を含有する界面活性剤を実質的に含まないことを特徴とする、[1]に記載の方法。

[5]前記分散液が、約 2 . 4 0 未満の S S G を有するポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンを含むことを特徴とする、[1]に記載の方法。

[6]前記吹き付けが噴霧スプレー ノズルを用いて行われることを特徴とする、[1]に記載の方法。

[7]前記ダスチング物質が、山積みされた塊、貯鉱の山、または屋根なしコンテナに含まれていることを特徴とする、[1]に記載の方法。

[8]前記ダスチング物質が屋根なし輸送車両内にあることを特徴とする、[1]に記載の方法。

[9]前記屋根なし輸送車両が鉄道車両であることを特徴とする、[8]に記載の方法。

[1 0]前記ダスチング物質が石炭および金属鉱石よりなる群から選択されることを特徴とする、[1]に記載の方法。

[1 1]高度に霧状にされたポリテトラフルオロエチレンまたは変性ポリテトラフルオロエチレンの水性分散液の霧を雲状のダストに吹き付け、それによって雲状のダストを少なくとも部分的に降下させることを含むことを特徴とする、ダスチング物質上に存在する雲状のダストを抑制する方法。